

作物チーム

河瀬 幸浩・樋口 伸一

紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附帯施設農場

1. 概要

作物チームは水稲、ハウスイチゴを栽培管理した。水田の耕作面積は450 aで、栽培品種は粳米の「コシヒカリ」,「ヒノヒカリ」,「ミルキークイーン」, 酒米の「弓形穂」と糯米の「ミヤタマモチ」である。大学内の実習に加え、教育ファームで「田植え」と「稲刈り」を実施した。ビニールハウスでは「章姫」,「おいCベリー」,「さちのか」,「やよいひめ」,「桃薫」のイチゴ5品種を栽培した。

2. 作物チームの本年の総括

1) 栽培状況

品種別栽培・防除暦を第1表に、生産量及び作付面積を第2表に、施肥量〔三要素の成分〕を第3表に示した。

①水稲

本年は、夏季の気温が高く、収穫前に雨が多く湿度が高かった。そのため一部の水田で、紋枯れ病が発生した。紋枯れ病は、殺菌剤による対策を行い最小限に抑えた。また6月頃から収穫までイノシシが発生し、畦や水田に被害がでた。イノシシ被害は範囲が広いため対策が難しく、ソーラーの電灯を置くなどに留まった。今年度も粳米の圃場を「みえの安心食材」に登録した。

②ハウスイチゴ

今年度は、ビニールハウス内の高設ベンチ1.3a（「章姫」492株）、連棟ビニールハウス1.8a（「さちのか」「桃薫」「やよいひめ」「おいCベ

リー」各2列208株ずつ）5品種を栽培した。

苗はすべて業者から購入し、9月20日から22日にかけて定植した。受粉にはクロマルハナバチを利用し、無加温で栽培した。元肥として緩効性肥料（10-7-10）を10a当たり100kg程度施肥し、収穫が始まってからは適宜灌水時に追肥した。収穫は12月中旬から始まり、栽培期間は29年9月下旬から30年5月下旬である。

初冬から気温が低く定植後の生育が悪い上、購入した苗も生育・根の発達不良であったため昨年に比べ約1ヶ月遅く収穫が始まった。

昨年と同様、目立った病気の発生はなかったが、ハダニが蔓延し薬剤散布では抑えられなかった。

今年度初めて栽培した「桃薫」は、その名の通り淡い桃のような色合いの果実で華やかな桃やココナッツの香りが強い一般的なイチゴとは一線を画する品種である。

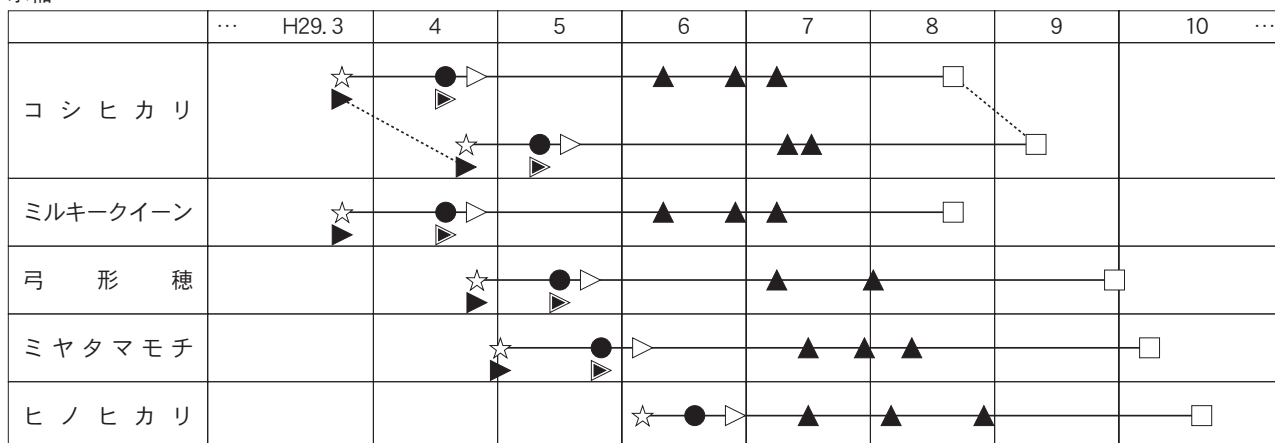
そのため、真っ赤なイチゴとのセット販売を行った。しかし、淡い色合いのため収穫適期の見極めが難しく、果実が柔らかいため収穫にも配慮が必要であった。

2) 今後の課題

水稲ではイノシシ等の獣害対策やカメムシ等の虫害対策をして、収量、品質を向上させることである。イノシシは酒米の種子や、実験の圃場に焦点を絞って電柵等確実に守っていく手段をとる必要がある。

第1表. 品種別栽培・防除暦

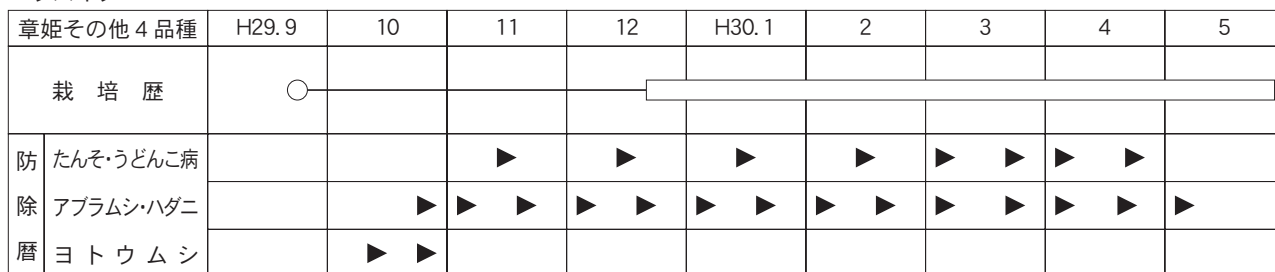
水稲



凡例：☆播種 ▶殺菌剤使用 ●定植 ▷殺菌殺虫剤使用 ▷除草剤散布 ▲追肥 □収穫

注) 播種時の殺菌剤使用は苗立ち枯れ病予防、定植前の殺菌殺虫剤使用はいもち病とイネミズゾウムシの予防

ハウスイチゴ



凡例：○定植 □収穫 ▶薬剤散布

第2表. 生産量及び作付面積

水稲

品 種	作付面積 (a)	収穫量 (kg)	収量 (kg/10a)
コシヒカリ	365	16,470	451
ヒノヒカリ	5	150	300
ミルキークイーン	60	2,910	485
ミヤタマモチ	5	170	340

注) 試験用・採種用などの圃場は除く

ハウスイチゴ

品 種	ハウス面積 (a)	植付本数	収穫量 (g)
章 姫 他 4 品 種	3.1	1,324	198

第3表. 施肥量 [三要素の成分]

水稻 (区画別)

	元肥 (kg/10a)			追肥 (kg/10a)			全施肥量 (kg/10a)		
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
1号田 No. 1	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.6	1.0	1.0	0.6
No. 2	2.5	3.0	2.5	3.9	1.9	3.7	6.5	4.9	6.3
No. 3									
No. 4	2.3	2.8	2.3	3.6	1.6	3.4	5.9	4.4	5.7
No. 5									
No. 6	2.2	2.6	2.2	2.4	3.2	3.5	4.6	5.8	5.7
No. 7	2.1	1.2	1.2	4.2	4.4	4.7	6.3	5.6	5.9
2号田	4.3	2.5	2.5	0.0	0.0	0.0	4.3	2.5	2.5
3号田	3.9	2.3	2.3	0.0	0.0	0.0	3.9	2.3	2.3
4号田	5.7	4.0	3.7	0.0	0.0	0.0	5.7	4.0	3.7
5号田	0.0	0.0	0.0	1.6	0.5	1.6	1.6	0.5	1.6
6号田	6.3	5.3	3.5	0.0	0.0	0.0	6.3	5.3	3.5
7号田	6.9	5.8	3.8	0.0	0.0	0.0	6.9	5.8	3.8
8号田	5.9	4.9	3.3	0.0	0.0	0.0	5.9	4.9	3.3
9号田	4.6	1.8	1.5	0.0	0.0	0.0	4.6	1.8	1.5

注) 1号田No. 3, No. 5に関しては, 複数品種の栽培や試験に使用したため記載せず